

No. 12 株式会社植松

[事業実施テーマ]

省施工・少人数で施工可能な、金属製オリジナル定尺屋根材の開発

企業紹介



植松社長（中央）、及川取締役（右側）、
経営企画室 神田主任（左側）

地域に密着した金属屋根工場として発展

当社は、昭和24年8月に植松康男商店を創業、昭和49年8月に株式会社植松を設立、沼津市に金属屋根の成型・加工工場を持ち、金属屋根材の製造・販売を行っている会社である。

1,000㎡を超える規模の金属屋根製造工場を持つ会社は静岡県内には5社しかなく、静岡県東部地域では当社が先駆となっている。

現在の主要な販売先として、金属屋根の加工・施工を行う建築板金業者（約500社）を有している。さらに、関連のグループ会社には最大の販売先である「植松建興株式会社」（屋根施工会社）がある。また、社内には『金属屋根工事技士』という金属屋根工事の専門資格を取得している社員も5名在籍し、金属屋根を製造から施工するまでの経験やノウハウをグループで有していることが強みである。

創業以来68年の長きにわたる地域密着型の営業展開と財務内容の健全性から、事業計画を遂行する能力と体制を整えた会社である。

取り組みの経緯



継ぎ手部分

物件ごとの「オーダーメイド」の受注・生産体制で金属屋根材の供給

当社では昭和49年に製造工場を設立以来、現場の屋根に合わせた、物件ごとの「オーダーメイド」の受注・生産体制で金属屋根材の供給を展開してきた。

金属屋根材は、軽量で耐震性に優れており、施工の手間やコスト面からリフォームに適した屋根材であることがあげられる。さらに、耐震化リフォームとして重い屋根材から軽い屋根材である金属屋根に葺き替える工事も震災以降増加している。また、屋根に太陽光パネルを設置する需要も増加するなど今後ますます軽い金属屋根の普及が期待される。

当社では、建設する現場の屋根の横幅で作る「長尺成型」と呼ばれる製造方法ができることを長所としてこれまで拡販してきた。「長尺成型」のメリットとしては、①「継ぎ手を使わない工法」で施工が可能のため、「継ぎ手」からの漏水事故を防止できる。②屋根材と屋根材を繋ぐ部材が不要となり、材料費や施工費を軽減できることである。ただし、デメリットとしては①製品の長さが5mを超えると一人での施工が難しい。②10mを超える長さのものは、都市部や狭い住宅街への搬入が困難である。③屋根材を屋根に揚げる際は、クレーン等の重機が必要になることがあげられる。

[会社概要]

- 代表者名／代表取締役 植松孝康
- 所在地／〒410-0007 沼津市西沢田 200-1
- 取材地／同所在地
- 設立年月／昭和44年6月
- 資本金／46,250,000円
- TEL／055-922-1555
- URL／<http://www.umatu.co.jp/>



取り組みの内容



導入した生産ライン

職人の減少から少人数で施工可能なオリジナル金属屋根材の開発

当社を取り巻く環境の変化として、販売先である建築板金業者の高齢化や若年従事者の減少があげられる。

そのような状況の中で、施工が簡易的で誰でも同じ品質の施工が可能であり、少人数で工事を行うことができる屋根材が求められてきた。

当社においても、新築住宅着工需要の減少に対し、現在の販売品である「長尺成型品」が使えないリフォーム現場があるなど、リフォーム需要に対応できていない面があること、オーダーメイド製品であるため、正確な屋根の寸法が決まってからでないと製造することができず、計画的生産体制がとりにくいこと、さらに、「決まった長さで作られる定尺品」の問い合わせが増え、「定尺品」の仕入販売が増加し、当社の本来の強みである「自社製造の工場を有している」ことが活かしきれないことが課題となった。

課題解決のために、省施工・少人数で施工可能な屋根材で製品の長さが決まった長さで作られたオリジナル金属屋根材「定尺横葺き」の新商品の開発を行い、併せて屋根材の付属部材も同時に製造できる体制を整備した。

結果



オリジナル金属屋根材の施工例

金属製オリジナル定尺屋根材「UMルーフ1(ONE)」の開発

今回の補助事業では、生産ラインの検討を行い新商品開発に併せた設備を導入した。その結果、「金属製オリジナル定尺屋根材 UMルーフ1(ONE)」(サイズ縦275mm・横3,638mm)については、製造コストとともに、伸縮性、ヘコミ、断熱性・遮音性、耐久性などの目標をクリアする見通しがついた。

また、屋根材の有効面積「働き幅」の拡大や、継ぎ手部分の省施工化により、屋根施工会社の材料コスト削減とともに施工の手間を軽減させ、省コスト、省施工が実現することとなった。さらに新たな継ぎ手部分の開発や付属する周辺部材も併せて開発したことにより、漏水リスクも軽減できるようになった。

最近の傾向から、定尺横葺き商品が市場に浸透しつつあり、今回の差別化された「金属製オリジナル定尺屋根材UMルーフ1(ONE)」の開発は、地域を超えたビジネスチャンスに繋がると考える。製品の配送を運送会社に委託することで、地域を超えた展開のできる商品となり、全国へ販売展開をすることも目指して行く。